

<ひきこもり対策連絡協議会> 平成31年2月19日(火)
 <静岡県ひきこもり家族交流会>平成31年3月4日(月)
 ひきこもりについて、他の御家族とお話してみませんか。
 ※当支援センター（各健康福祉センター・精神保健福祉センター）で相談されている御家族が対象です。問合せ先：静岡県精神保健福祉センター054-286-9245
 <定例カンファレンス>

県内各所のひきこもり支援センターだけでなく、ひきこもり相談に対応する市町・支援機関を対象にケース検討の場を設けています。対応の検討や支援の確認等に御活用ください。定例カンファレンスでは、アドバイザーの江口先生の御助言・御協力をいただいております。日程等についてはお問合せください。



センセイの
コラム

心理学で見つける“人生の意味”
 ～ ロゴセラピー ～

琉球大学 人文社会学部
 准教授 草野 智洋

第6回

「意味への意志」

ロゴセラピーでは、人間にとって最も根源的な欲求は、意味を求める「意味への意思」だと考えます。仕事でも勉強でも「これをやる事に何の意味があるんだろう？」と思うことはありませんか？何をやるにせよ、その事に意味を感じられなければ、モチベーションは上がりませんよね。人によって程度の違いはありますが、私はどうもその傾向が非常に強いようで、意味の分

からないことは全くやる気が起きません。だから人に何かをしてもらうときにも、「何をするか」だけでなく必ず「何のためにそれをするか」を説明するように心がけています。一方、やり始めたときには意味があったけれど今ではもう意味がなくなっている、という業務はみなさんの職場にありませんか？そういう場合は「勇気を出して廃止する」ことが最も意味のあることかもしれません。

静岡県ひきこもり支援センター



〒422-8031 静岡県静岡市駿河区有明町2-20

静岡総合庁舎 別館4階
 静岡県精神保健福祉センター内

相談専用電話 054-286-9219

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-845/seishin/>

静岡県ひきこもり支援センターでは、平成28年度よりひきこもりの御本人向け支援の一つとして居場所を開設しています。今年度からは県内5箇所となりました。今回は、当センターの居場所について御紹介いたします。

静岡県ひきこもり支援センターの居場所とは？

ひきこもりに悩む御本人が、家以外で安心して過ごすことのできる場です。家の外に意識が向いてきた方に、次のステップに進む前のワンクッションとして御利用いただいています。

利用にあたって

当センター（各健康福祉センター・精神保健福祉センター）での来所相談で、現在の状況に応じた適切な支援と一緒に検討し、居場所利用申込をしていただきます。居場所支援と継続的な個別相談の両輪で、利用者をサポートします。御本人の状況に応じて居場所以外の支援方法を提案させていただきます。御本人にとって適切な支援は何かを一緒に考えていきたいと思っています。

そもそも、ひきこもり支援における居場所支援とは？

「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン（厚生労働省）」によると「中間的・過渡的な集団との再会段階」「社会参加の試行段階」と位置付けられています。電話相談や来所相談などの個別支援から集団支援へと移行していくため、御本人の社会参加に向けての準備段階として居場所を提供することが望まれるとされています。



県内5か所の居場所について各スタッフから、御紹介です。



賀茂「めばえ」<NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡>

「めばえ」の雰囲気は「自由」です。近隣の散策、仲間とトランプなどのゲーム、おしゃべり、一人で読書、気持ちの良い季節には、海からの風に当たりながらお昼寝もOK。スタッフものんびり屋？なので終始和やかです。一度、「めばえ」を見に来ませんか？お待ちしております。

↓広々とした場所



↑活躍中のスタッフ

東部「ほとり」<NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡>

平成 30 年度より新しく伊豆地区に設置されたひきこもりがちな方のためのコミュニティスペース、修善寺駅近く狩野川沿いの「ほとり」です。利用者のペースにそっと寄り添い安心して過ごせるようスタッフと信頼関係を築きながら、“やってみよう”を伴奏していきます。



↑活躍中のスタッフ

東部「なごみ」<NPO 法人臨床心理オフィス Be サポート>

「なごみ」は、イシバシプラザ・イトーヨーカドー沼津店近くの建物の3階にあります。アパートの一室で、陽当りの良い和室でくつろいだり、おしゃべりしながら過ごしています。また、買い物にも便利です。スタッフは精神科病院の病棟やデイケアに携わっていたので、利用者の健康にも配慮しながら関わっています。

↓正月の飾り作り



↑製作したモビール

中部「みなと」<NPO 法人サンフォレスト>

→活躍中のスタッフ

みなとでは、利用者が「安心して、ありのままでいられる場所」を目指した居場所活動を行っています。読書やゲームなど各々が好きな形で過ごすフリータイムを中心に、月1回程度で調理や工作、外出などの季節や行事を意識したプログラムを企画しています。



西部地区「ひとむれ」<社会福祉法人テンマーク牧場福祉会>

デンマーク牧場の山々や羊たちを眺めながらのカードゲーム、卓球、園芸、創作活動の他に、バスで外出する日もあります。調理活動は好評で、たこ焼き、クレープ、クリスマスケーキ、牧場で採れた牛乳でプリンも作りました。御本人の気持ちに寄り添った活動を心がけています。

↓プリン作り



↑クリスマスの装飾飾り

～ 居場所利用までの流れ ～

<例>

まずはお電話を。
(054-286-9219)
現在の様子等のお話をうかがい、来所相談の調整をします。

電話
問合せ

来所
相談

要予約。適切な支援について、御本人や御家族と一緒に考えます。

居場所
見学

相談員が同行し、居場所の見学をします。利用についての説明やマナーについて話を聞きます。

利用
申込み

見学後は、居場所をどのように使っていきたいか等、御本人と相談員で話をします。

静岡県ひきこもり支援センターの居場所は、静岡県の委託により、県内各地で活躍している団体が運営しています。当センターでは、居場所と個別面談を通して、利用者支援しています。

関係機関の方の見学にも対応しています。事前にお問い合わせください♪

